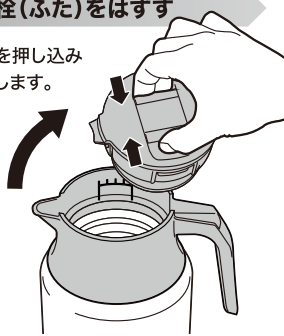


中栓分解・水量調節方法

1 中栓(ふた)をはずす

脱着つまみを押し込み
ふたをはずします。



中栓の分解方法

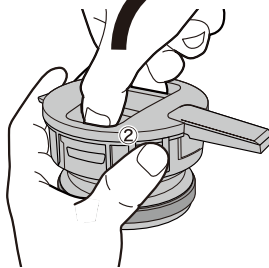
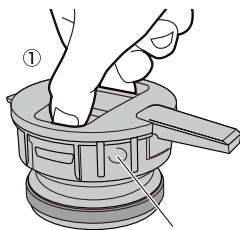
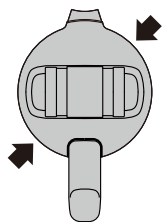
下記の方法で分解出来ない場合
右記の方法をお試しください。

2 レバー部と中栓本体の分解 ①

- ①脱着つまみを左右から挟むように持ちます。
- ②中栓本体側面にある凹みを押さえます。
(対角線上に2箇所)

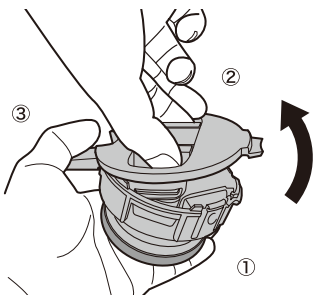
- ③脱着つまみ、凹みを押し込み、
中栓を分解します。

凹みの位置



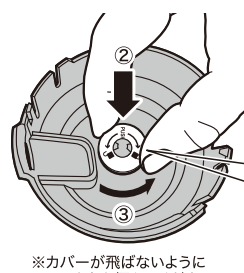
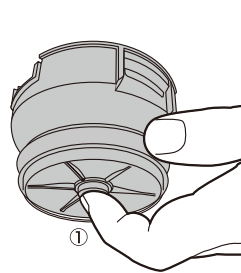
！ レバー部と中栓本体の分解 ②

- ①図のように中栓(ふた)を持ちます。
- ②もう一方の手で脱着つまみを左右から押し込み
- ③レバーを下げ、矢印の方向に開くように中栓を
分解します。

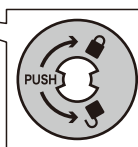


3 シャフトカバーの取り外し

- ①中栓本体底のシャフトを指で抑えます。
- ②シャフトカバーを下に押し込みながら左に90度回転
するとロックが解除され、カバーを上引き抜けます。



※カバーが飛ばないように
しっかりと掴んでください。



※カバー取り外し手順

4 水量調節

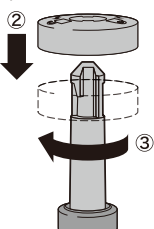
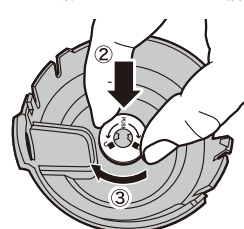
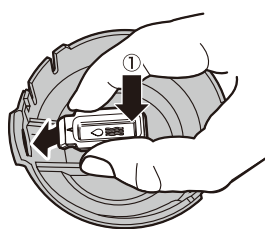
※出荷時はBが装着されています。



多め ← 標準 → 少なめ

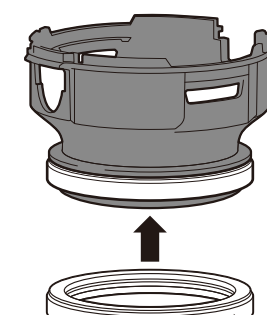
5 取り付け

- ①水路中栓をしっかりはめてください。
- ②シャフトカバーを押し込みながら③右に90度回転すると
- ④カバーがロックされます。必ずロック位置まで回してください。
※カバーが飛ばないようにしっかりと掴んでください。

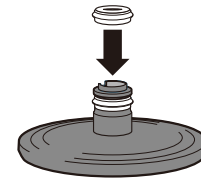


パッキンについて

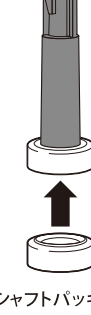
分解の後にはパッキンを忘れないようにしてください。



中栓パッキン



弁パッキン



シャフトパッキン



水路せんパッキン

材料の種類	
内 び ん	ステンレス鋼
胴 部	ステンレス鋼 (アクリル樹脂塗装)
中栓 (ふた)	ポリプロピレン、ポリアセタール
ハンドル	ポリプロピレン
レ バ ー	ABS樹脂
パッキン	シリコンゴム

※パッキンは消耗品です。ご使用後半年から1年を目安に
ご確認ください。消耗がある場合は、お買い上げの販売店
で品名、品番をお確かめの上、お買い求めください。

※保温効力とは、室温20℃±2度において製品に熱湯を中栓の下端までの入れ、湯温が95℃±1℃になった時、中栓をして縦
置き縦置きにした状態で1時間、及び10時間放置した場合における、その湯の温度です。

※保冷効力とは、室温20℃±2度において製品に冷水を中栓の下端までの入れ、水温が4℃±1℃になった時、中栓をして縦
置き縦置きにした状態で1時間、及び10時間放置した場合における、その水の温度です。

品質表示			
ステンレス製卓上用魔法瓶			
品 名	ACS-605	ACS-805	ACS-1005
品 番			
実 容 量	0.65L	0.85L	1.0L
保温効力	1時間	83度以上	85度以上
	10時間	50度以上	57度以上
保冷効力	1時間	6度以下	6度以下
	10時間	8度以下	8度以下

お問い合わせ

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、
お買い求めの販売店または下記お客様相談窓口までご連絡ください。

表示者 株式会社アトラス
〒192-0906
東京都八王子市北野町549-1第2石坂ビル

お客様
相談窓口

TEL. 042-660-8870
受付時間 / 9:00~18:00月~金曜日
(土日・弊社休業日を除く)
<https://www.atlas-scm.jp>

MADE
IN
CHINA

Atlas

Café link

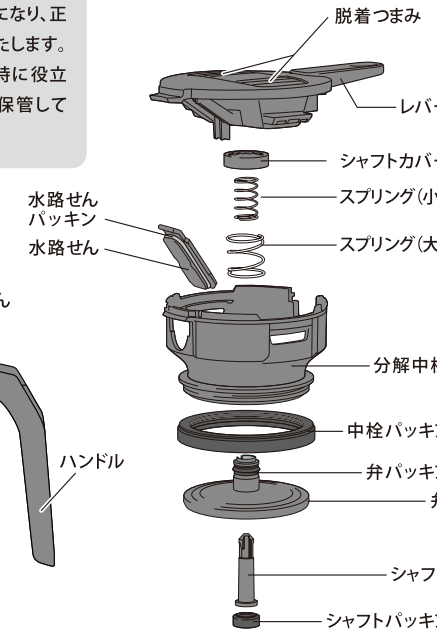
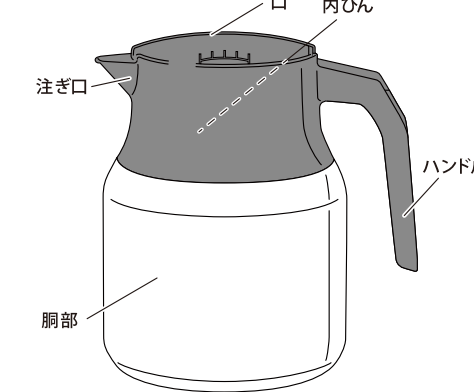
カレント・アジャスタブルコーヒーマーカー

CURRENT

取扱説明書

このたびは、当社のアジャスタブルコーヒーマーカーを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用
になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みになり、正
しく安全にご使用くださいますよう、お願いいたします。
また本書は万一ご使用中にわからなくなった時に役立
ちますので、いつでもみられるところに大切に保管して
ください。

各部の名称



必ずお守りください

警告

- 飲みものの保温、保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。(破損や事故の原因になります。)
- お子様だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところでは使用しないでください。また幼児の手の届く場所には置かないでください。いたずらにも注意してください。(やけど・けがなどのおそれがあります。)
- ストープやコンロなど火気のそばに近づけないでください。また直射日光の当たる場所、屋外で使用しないでください。(変形や変色の原因になります。)
- 倒したり、落としたり、ぶついたり、製品に強い衝撃、振動を与えないでください。(保温・保冷効果が低下するなど故障や製品が破損するおそれがあります。)
- お湯を入れる際、少なめに入れてご使用ください。入れすぎると内圧で内容物が吹き出すおそれがあります。(やけど・けがのおそれがあります。)
- お湯を入れた直後は、数十秒おいてから中栓(ふた)をしてください。ワンタッチレバーを押した際、内圧で内容物が吹き出すおそれがあります。(やけど・けがのおそれがあります。)
- 熱い飲みものを入れて使用する場合には、横転させて中身が流れ出ないように注意してご使用ください
- ハンドルを持ちワンタッチレバーを押しながら、少しずつ傾けながら注いでください。(傾け始めてからワンタッチレバーを押すと内容物が漏れてやけどやものを汚す原因になります。)
- コップ等に注ぎ終わったら平らな安定した場所に置いてください。(漏れて、やけどやものを汚す原因になります。)
- 車中や屋外など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。

- (漏れて、やけどやものを汚す原因になります。)
- サーバーは転倒させたり、ゆすったりしないでください。また、持ち運びする際はハンドルを持ってください。内容物が漏れるおそれがあります。(漏れて、やけどやものを汚す原因になります。)
- 熱いやかんなどを口にあてないでください。(転倒して、やけど・けがなどの危険があります。またキズや変形の原因になります。)
- 中栓(ふた)を確実に閉めてご使用ください。(閉め方が不十分だと、漏れて、やけどやものを汚す原因になります。)
- 火にかける、磁気調理器を使用するなど絶対にしてしないでください。(火災や、やけどの原因となり大変危険です。)
- 絶対に修理・分解・改造は行わないでください。(故障や事故の原因になります。)
- 飲みものを入れた状態で長時間放置しないでください。(腐敗や変質の原因になります。)
- お茶などはお早めにお飲みください。(長時間保存するとお茶の色や味が変わります。)
- お茶・コーヒーを入れた後は必ずお手入れをしてください。(飲みものが出なくなる原因になります。)
- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。(キズや漏れの原因となります。)
- 缶ジュース・缶ビールなどを容器ごと入れないでください。(変形し、故障の原因となります。)
- アルコール類は入れないでください。
- 次の物は絶対に入れないでください。
 - ※ドライアイスや炭酸飲料等。(内圧があがり、内容物が吹き出るおそれがあります。)
 - ※牛乳・乳製品・果汁等。(腐敗や変質のおそれがあります。)
 - ※味噌汁・スープ等の塩分を含んだもの。(サビのおそれがあります。)
 - ※果肉・お茶の葉等。(つまる、漏れるなどの原因となるおそれがあります。)

お手入れの方法

- 本体(胴部)
お湯で薄めた食器用洗剤を柔らかい布に含ませて、固く絞り、汚れを拭き取った後、柔らかい布でからぶきをするステンレス独特の美しい輝きをいつまでも保つことができます。
- 中栓(ふた)
パッキンを取り外して、お湯で薄めた食器用洗剤に浸した、柔らかいスポンジでお洗いください。その後、洗剤が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

お手入れ上のご注意

- 煮沸はしないでください。(熱により変形し、漏れてやけどやものを汚す原因となります。)
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。(熱により変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。)
- 本体・中栓(ふた)の丸洗いやつけおき洗いはしないでください。(すきまに水が浸入して、漏れてものを汚したり、サビや保温・保冷不良の原因となります。)

ポット内びんにサビのような赤い斑点やザラザラしたものが付着してしまった場合には

- サビのような赤い斑点ができた場合
水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたためるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

- 内びん
お湯で薄めた食器用洗剤を柄の付いたスポンジブラシに含ませて洗い、十分乾燥させてください。

※ 汚れなどが付着していたり、飲みものを長時間入れたままにしていると臭いが発生する場合があります。その際はしっかりとお手入れしてください。

※ 臭いが気になる場合には、お湯で薄めた食器用洗剤を柄の付いたスポンジに含ませて何回か洗い、十分に乾燥させてください。

- シンナー・ベンジン・金属たわし・磨き粉・さらし粉・クレンザーは使用しないでください。(キズやサビなどの原因となります。)
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。(サビや故障の原因となります。)
- 中栓(ふた)のパッキンはお手入れ後必ず取りつけてください。
- 長期間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させ、湿気の少ない場所に保管してください。

ドリッパーご使用上の注意

- ドリッパーをご使用の場合は転倒などに十分気をつけてご使用ください。
- ドリッパーはサイズによって一部使用できないものもございます。

ご使用方法

※ ご使用前にフタ・本体(胴部・内びん)を十分に洗ってください。
詳しくは「お手入れ方法」をご確認ください。

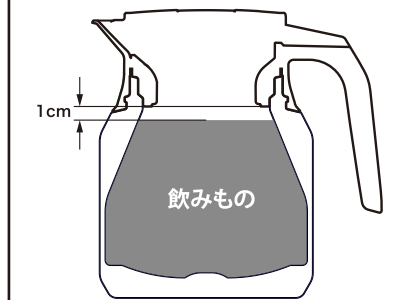
1 フタをはずす

脱着つまみを押し込み
ふたをはずします。



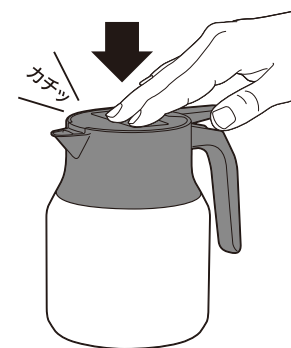
2 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにしてください。入れすぎると、ふたを閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。



3 フタを閉める

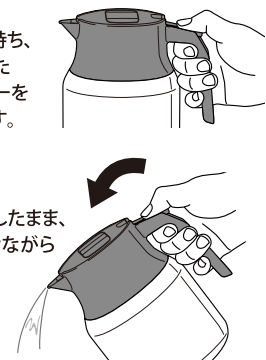
ふた上部を押して確実に
ふたを閉めてください。



4 飲みものを注ぐ

① ハンドルを持ち、
本体を立てた
状態でレバーを
押し下げます。

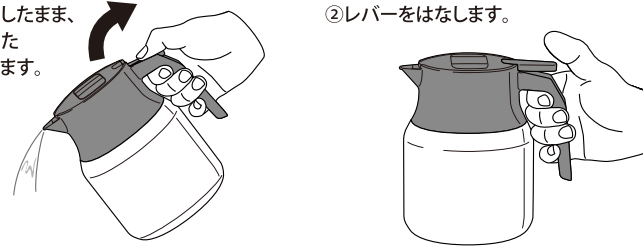
② レバーを押したまま、
ゆっくり傾けながら
飲みものを
注ぎます。



5 注ぎ終わり

① レバーを押したまま、
本体を立てた
状態に戻します。

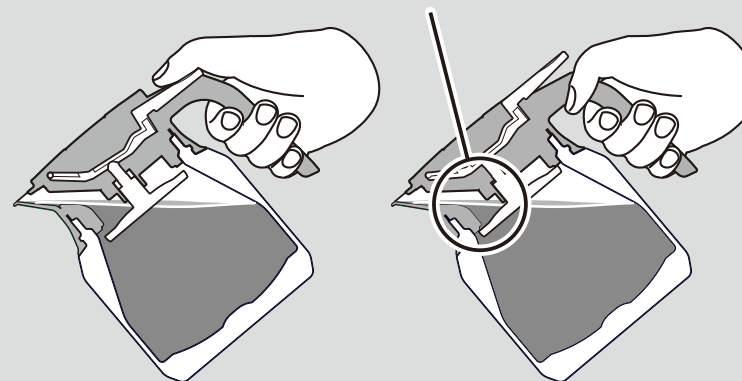
② レバーをはなします。



注意

※ 注いだ後、本体を傾けた状態でレバーを離すと、中栓内に飲みものが残り、使用中に漏れてやけどやものを汚す原因になります。

傾けた状態でレバーを離すと
中栓内に飲みものが残ってしまう。



<断面図>